

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に思い切り全身を動かし、巧みに使う楽しさを味わう。 見たことや感じたことを保育者や友だちとやりとりして、様々な方法で表現してみんなで楽しむ。 初冬の自然や年末年始の生活の仕方に興味・関心をもつ。 	子どもの姿 先月の	<ul style="list-style-type: none"> 戸外で友だちと一緒にしっぽとり、ドンじゃんけん、はないちもんめなどをして身体を動かして遊んでいた。 木の実やどんぐりを使って楽しんだり、制作に使って楽しむ。 友だち同士のおしゃべりが楽しくて、いつまでも話続けている。 	行事	<p>4日 父母会「風船太郎」 6・20日 英語であそぼう 18日 おはなし会 20日 身体測定 26日 避難訓練</p>
養護 ○生命・情緒	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が安心して快適に過ごす。 感染症予防のため、うがいや手洗いをを行う。 避難訓練に参加し、危険から身を守る。 冬の健康に関心を持ち、身の回りのことを進んでしようとする。 鼻汁が出たらかんだり、咳・くしゃみのエチケットを身につける。 	環境構成	<p>保育者の援助及び配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの体調や心の変化を見逃さず、表情や態度を見て援助し、異常があった時は適切に対応し、看護師と連携をとる。 感染症予防の意識が高まるように必要性を改めて知らせ、場に応じて声を掛けたり保育者が手本を示していく。鼻汁がでたらかみ、気持ちよく過ごすことを伝える。咳、くしゃみは口で押えてすることを、その都度伝えるようにする。 避難訓練の大切さや必要性を分かりやすく知らせる。 防寒の安全のために、上着のファスナーは必ず閉めることを伝える。 		
教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがいの大切さを知り、自分から行う。 気温によって、衣類の調節をする。 寒さに負けず、戸外で友だちと関わりながら体を動かして遊ぶ。(鬼ごっこ、鉄棒、のぼり棒、大縄等) 大掃除に取り組み、きれいになった気持ち良さを味わう。 身近な地域の年末の様子や過ごし方などに興味・関心をもつ。 自然の移り変わりや、季節の変化に興味をもつ。 一年の終わりであることを知り、年末年始の過ごし方を知る。 好きなお話を題材に、劇あそびを楽しむ。表現する事で、さらに民話や童話に親しむ。 様々な素材を使い、制作を楽しむ。 寒くなっていくことや木々の様子などの初冬の自然の変化に興味・関心をもつ。 異年齢児と一緒に遊び、活動を通して親しみをもち、関わりを深める。 絵本やお話しに親しみ、関心をもってみたり聞いたりストーリーを楽しむ。 季節の歌を楽しむ(お正月) 友だちや保育者と、図鑑や冬の絵本を楽しむ。 相手の話をよく聞こうとする。 自分たちで作った物を使ったり遊んだり飾り付けたりする喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 寒さからけがをしやすいため、戸外遊びの前には体操をして体をほくすようにする。 ティッシュペーパーは子どもが手に届く場所に置く。 手洗い場の鏡を常にきれいにする。 新しい年の始まりや、日本ならではの年末年始の過ごし方に興味・関心をもてるようにする。また、保育者と共に大掃除をする。(雑巾を人数分用意する) 散歩先では、季節ならではの事象に触れる機会を多くもち、絵本や図鑑を用意する。 ルールのある遊びを取り入れ、みんなで遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 子ども達が十分に遊びこめるように活動時間を工夫する。 ケガに繋がらないように、子ども理解からの行動予測や遊びの雰囲気に応じ、保育者の立ち位置を考慮。 異年齢交流は、担任同士で事前に連携を取っていく。 年長児と関わる場を設けていく。 子どもたちが意欲や欲求が満たされるように、制作に必要な物品や工作等ができるように準備しておく(画用紙・のり・はさみ・空箱・クレヨン・紐・セロテープ等) クリスマスの制作など、自分でできたという達成感をもてるような内容にし、一人一人が思い切り表現できる雰囲気づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがいには感染予防の効果があることを伝え、水が冷たくても進んで行えるようにしていく。 散歩での注意事項を伝えたり、見守る。 身体を温まる運動遊びを、保育者と一緒に楽しみながら行う。 季節ならではの事象に気付けるように、言葉をかける。 大掃除をする中で、自分が使っている保育室や個人用の棚などへの感謝や大切にしている気持ちがもてるようなかかわりを心がける。 みんなで大掃除をしてきれいになった気持ち良さを味わい、新年を迎えられるようにする。 異年齢児との関わり方を、具体的に伝えていく。 異年齢の関わりは、保育者が率先して関わる姿を見せたり、やりとりが出来るように仲立ちをしていく。 年長児に教えてもらう場面を設け、少しずつ憧れの気持ちが持てるように、保育者が声掛けを工夫していく。 一緒に遊んだり、劇遊びを互いに見せ合ったりする場をつくる。 子どもたちのイメージや表現したい気持ちを引きだし、楽しみながら劇遊びにつなげる。 制作等では、保育者が見本をみせ、作り方を丁寧に知らせていく。 作る楽しさや飾る楽しさ、作り上げた達成感が味わえるように、一人一人の姿や作品を認める。 イメージしたものを作りあげる楽しさが味わえるようにする。 		
食育	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の栄養や役割を知り、食材に関心を持つ。 季節の野菜に興味・関心を持つ。 食事の時間やマナーを守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の役割の話は、絵や表で分かりやすく示せるようにする。 期待をもって行事に参加できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌を通して食材や栄養について興味を持てるよう、一緒に楽しみながら歌う。 冬のパーティ、焼き芋パーティで異年齢の関わりが深まるように担任同士で連携を図る。 		
家庭・地域との連携		月の反省		自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> 体調を崩しやすい時期なので家庭でも、手洗い・う、がいの徹底をしてもらい、異常が見られたら栄養や休息を十分に取るように呼び掛ける。 行事のねらい取り組みについて知らせ、理解してもらおうとともに、おたよりなどで子どもの姿や成長を伝える。 					